

1000円くらいで 作れる斜面台



1000円くらいで 作れる斜面台



特徴

- 釘やのこぎりなどは使いません。
- 布テープを張り合わせて作ります。
- テープの色や柄の選択で**Only One**の斜面台が作れます。

材料、道具

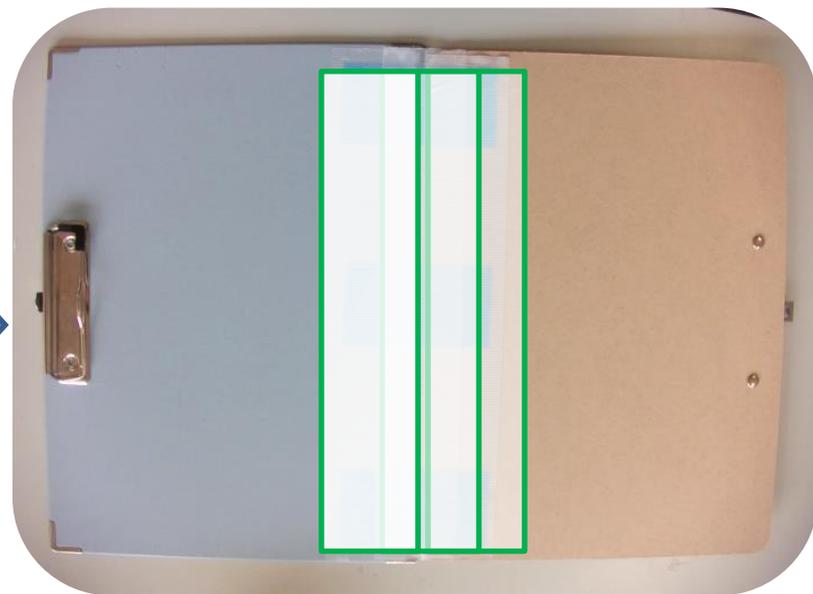
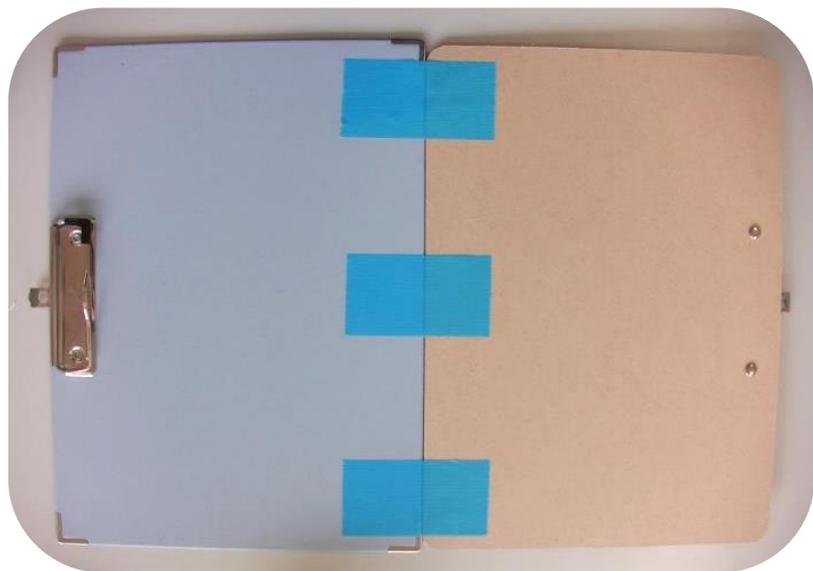
- ◆ 桐すのこ：1枚 
(ばらばらにして使います。ばらばらにするときにすのこが折れる時があるので予備にもう一枚あると安心です)
- ◆ クリップボード (A3) : 
200円×2枚
- ◆ MDF板 (300×200×6mm) : 1枚 
- ◆ 布テープ : 1本  
- ◆ 柄テープ (1m以上) 
(布テープと柄テープの組み合わせ方Only Oneの斜面台になります。柄テープはダクトテープの商品名でもあります。)

- ペンチ
- 木工用ボンド
- 定規
- ハサミ
- 鉛筆



テープの貼り方：基本ー1

2枚の板をつなげるときはこのような貼り方をお勧めしています。

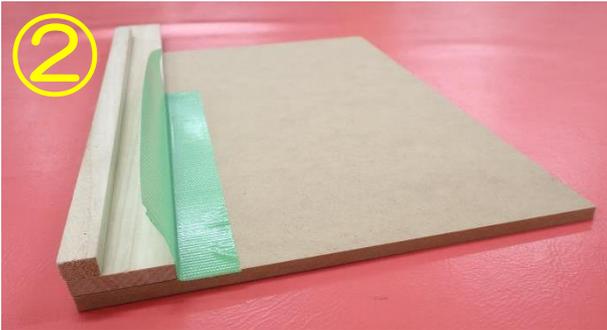


最初に2枚の板をつなげるように縦にテープを貼る。
(アンカーテープ)

アンカーテープを固定するように、少しずつずらせて横に貼り重ねていく。

テープの貼り方；基本ー2

段差を貼る時は、下から、階段を登るように貼る。



小ネタ

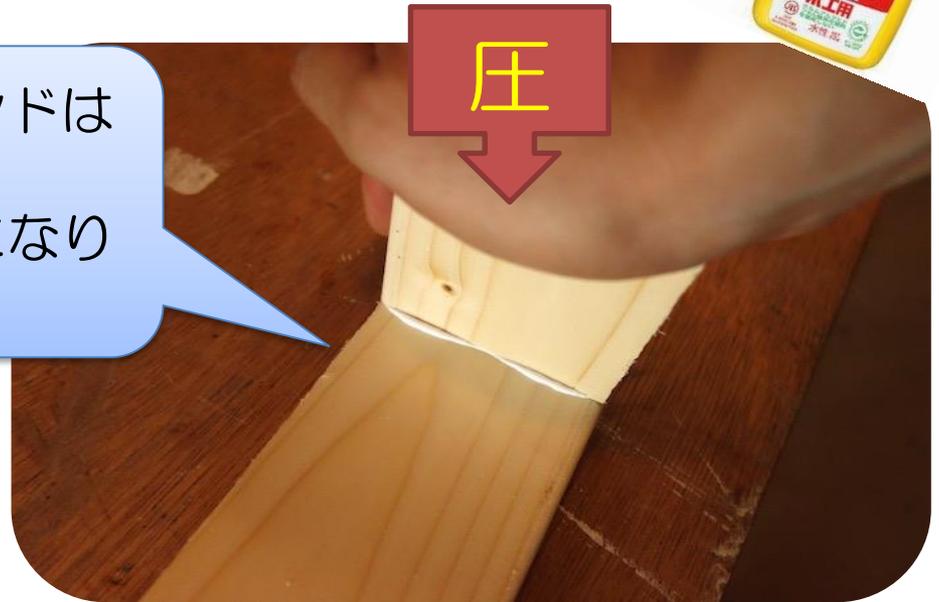
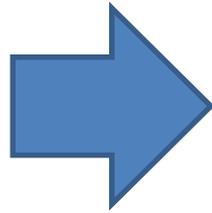
★ベタベタしてきたハサミの復活法

1. 消しゴムでこする
2. 切れ端の布テープでトントンする。

木工用ボンドのつけ方



- はみ出たボンドは拭きとる。
- 乾けば透明になります。



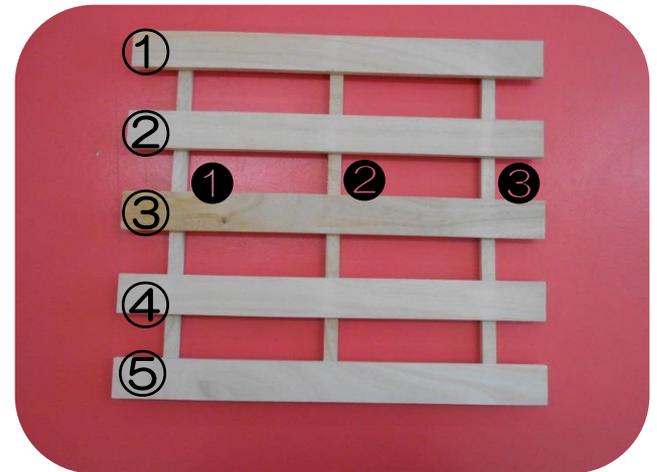
ボンドを少し多
めにつける。
(両面分)

接着面をパカパカ開き、ボンドを
空気に触れさせながら、ボンドを
両面に広げる。体重をかけて、
しっかり**圧着**する。

圧をかけることで、木の繊維の中にボン
ドが入っていきます。

作成前の下ごしらえ①

- 桐すのこを分解5本の太棒、3本の細棒にする。釘は注意して抜く。

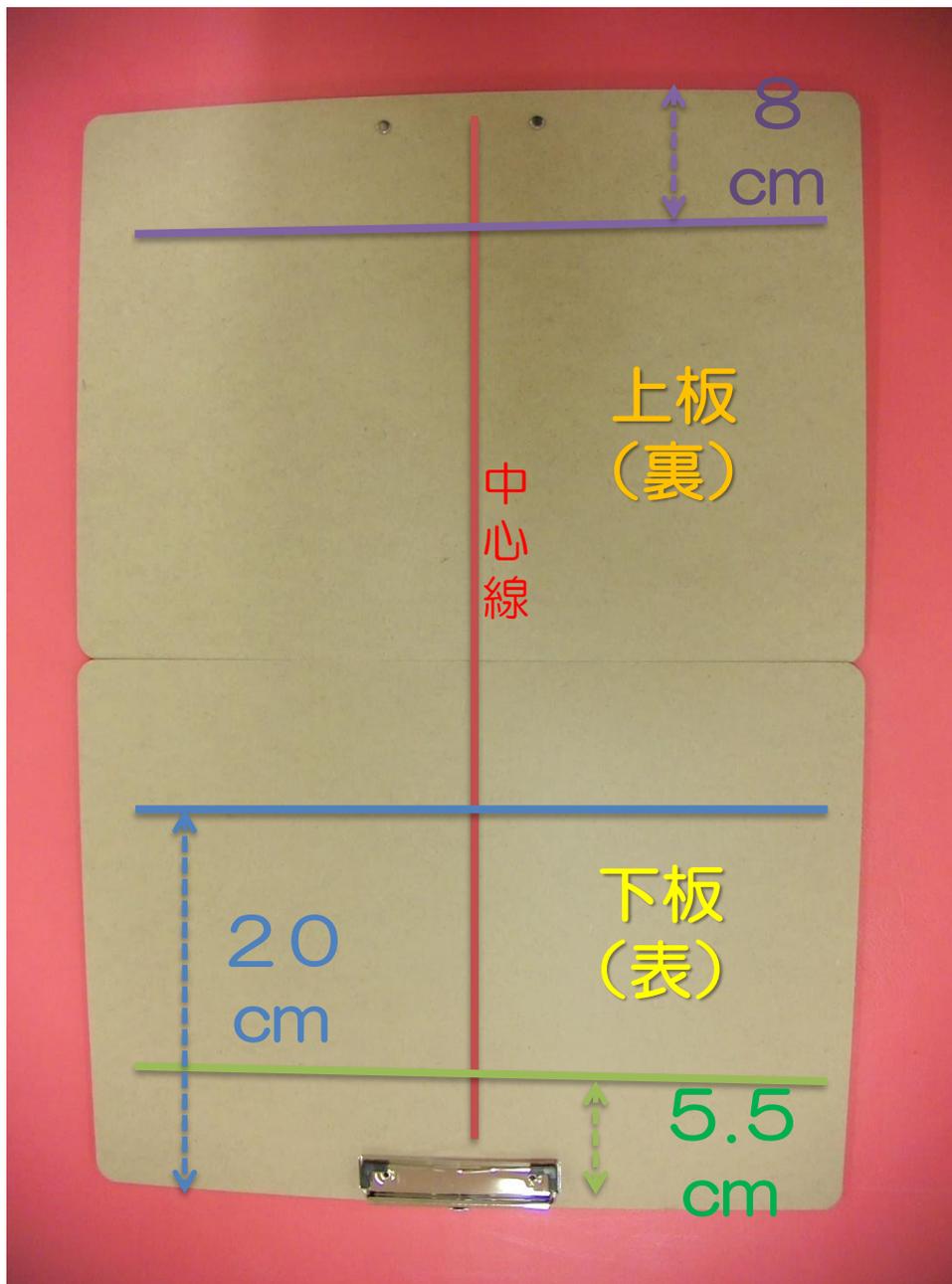


【分解のコツは『弱い者いじめ』】

きしむ音や少し動く部分を探し、その部分から外しにかかる。

- 中心部分の方がとりやすいかも？
- 太棒を動かすイメージで外すと、細棒を折るリスクは軽減される。

もし折れても木工用ボンドでなんとかなるので、恐れず分解しよう！



下ごしらえ②

①クリップボードに、左図の寸法で線を引く。

②太棒・細棒にも中心線を引く。

【太棒 18.5cm】

【細棒 16.5cm】

作り方

①：こぼれ止めを着ける
上板(表)の下端中央に細棒
をボンドで貼り付ける。



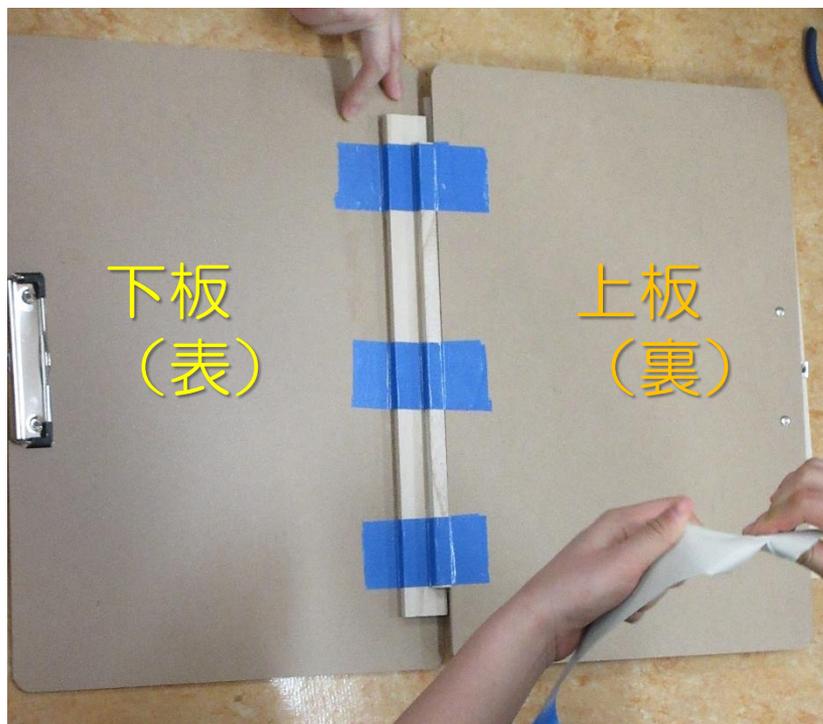
2枚の布
テープで
とめる。

②：この部分をつくる。
(太棒は連結部の土台になります)
(細棒をはることですっきりたためます。)
下板(表)の下端中央に、太棒と細
棒を重ねてボンドで固定する。



※こぼれ止めの両端にテープを貼ると強度が落ちるので、空けておく。

③：上下板を連結①

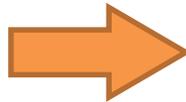
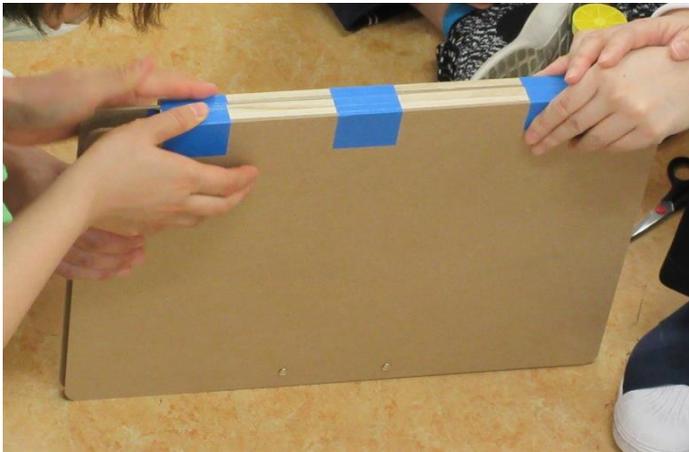


「テープの貼り方；基本ー1」参照

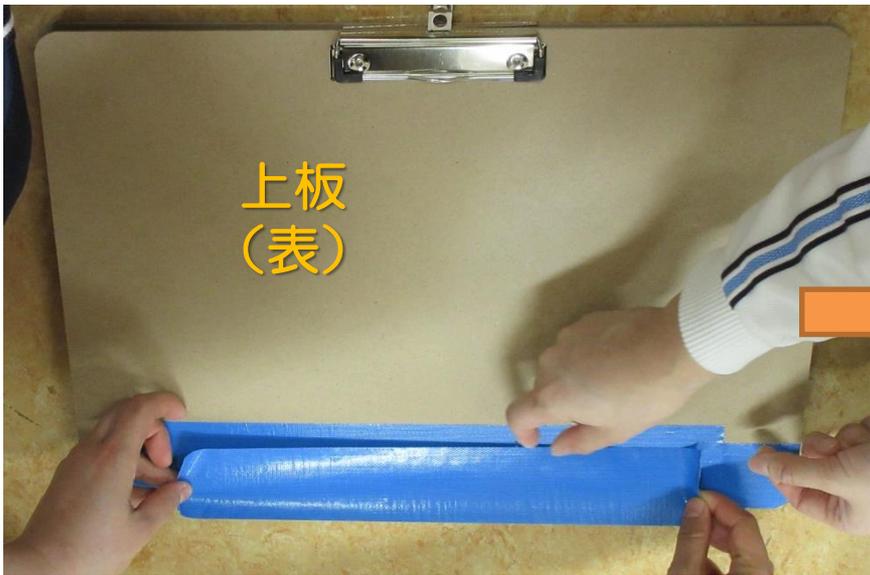
④：上下板を連結②

※「テープの貼り方；基本ー1」参照

折りたたんで外側からも布テープで貼り合わせていく。



下地がむき出しにならないよう、この角にも布テープを貼っておくと、仕上がりがきれい。



テープに少し重ねて細棒の上に貼る



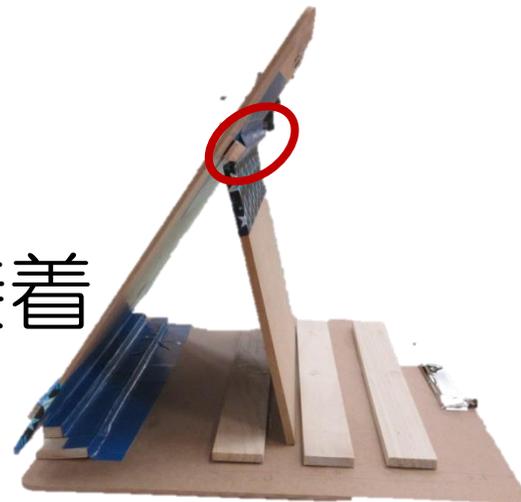
テープを少しずらせて貼る



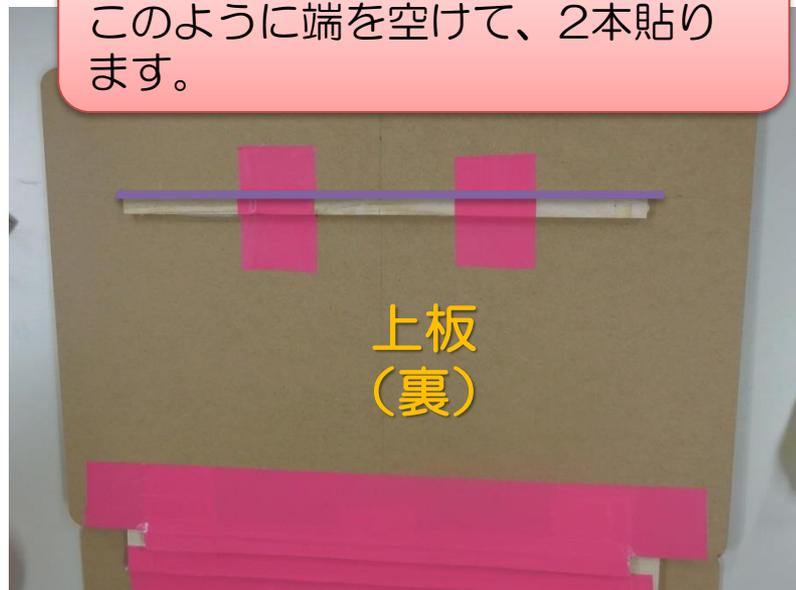
もう一枚ずらせて貼る

⑤：支え板の固定用細棒接着

上板（裏）の8cm線にボンドで接着し、アンカーテープを2本貼る。

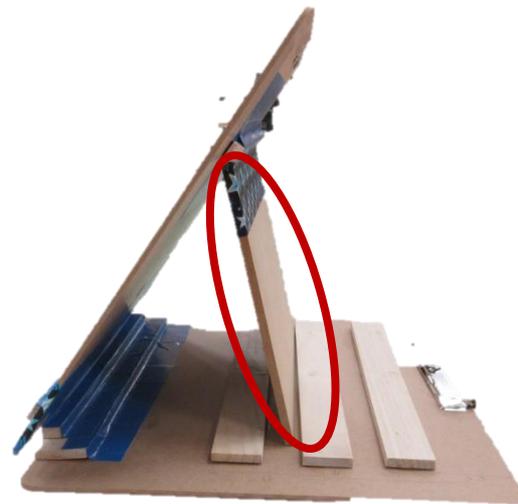


色は異なります（本当は青）が、このように端を空けて、2本貼ります。

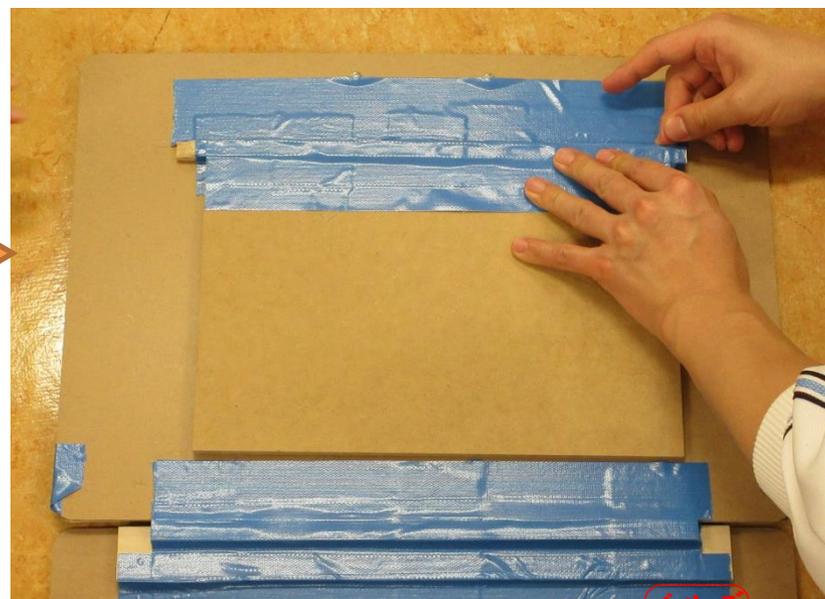
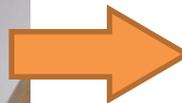


⑥：支え板の取り付け①

固定用細棒に支え板（MDF板）を
布テープで貼る。

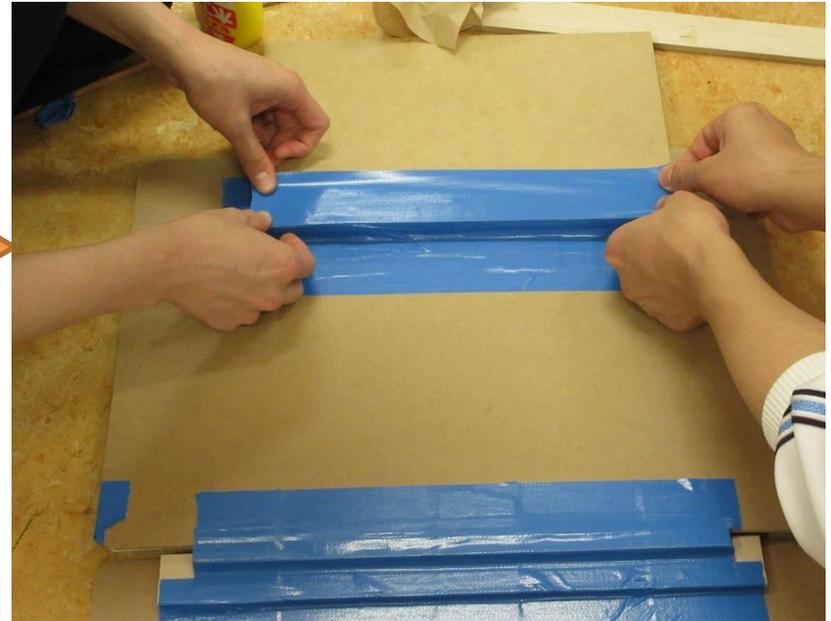
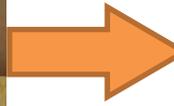
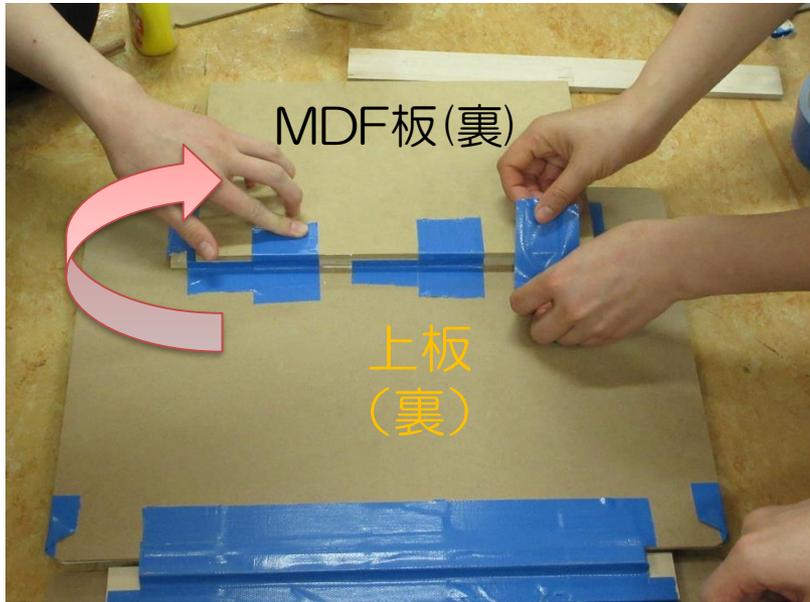


布テープ同士を重ねない方が、
強度が出ます。



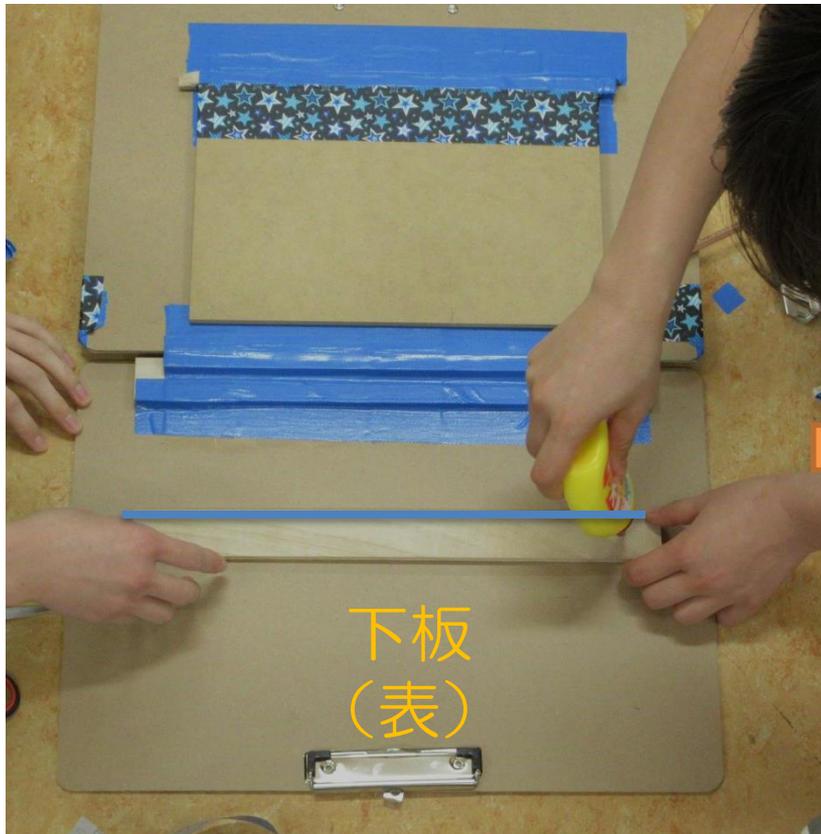
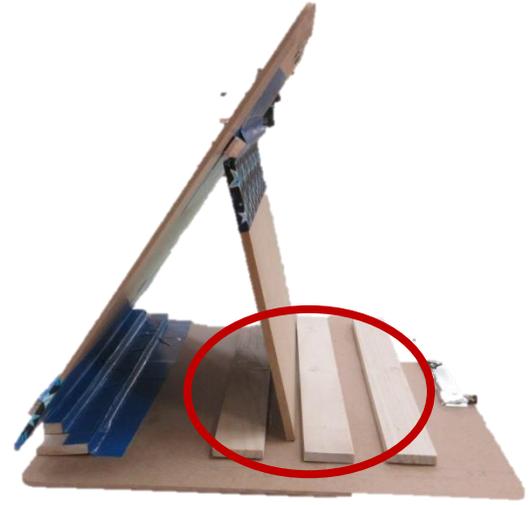
⑦：支え板の取り付け②

MDFの裏面からも布テープで同様にとめる。



⑧：仕切り板の接着

20cm線、5.5cm線に合わせ、
太棒をボンドでつける。



⑨：柄テープを貼ってー

